

ななかまど

NANAKAMADO

Hokkaido Information University Magazine

Volume 78

Published on September 20, 2022

078



特集

緩やかに賑わいを見せる日常

Thronged

体



大 中 体 育 祭

ついに開催



6月17日(金)、18日(土)に第29回体育祭が開催されました。3年前はクマ出沒による中止、昨年と一昨年は新型コロナウイルスによる中止(eスポーツ体育大会として実施)で、開催は実に4年ぶりです。

今年度の競技はソフトボール、ポッチャ、ソフトテニス、ドッジボールの4種目と、例年より少ない競技数での開催となりましたが、多くの学生が参加し、どの競技も白熱した試合となりました。

体育祭終了後恒例のジンギスカンパーティーは行うことができませんでしたが、学生たちの笑顔溢れる楽しい体育祭となりました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、制限のある中でも例年以上となる多くの学生に出場していただき、大盛況の中体育祭を締めくくることができました。準備にご助力をいただきました教職員やOB、同窓会や食堂の方々、審判のご協力をしてくださった皆様、何より体育祭に参加していただいた学生の皆様に感謝申し上げます。

また、10月には蒼天祭の開催を予定しています。体育祭の経験を活かし、学生実行委員会一同努力しますので、一層のご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



学生実行委員会 委員長
かわむら えりお
川村 恵利緒 システム情報学科3年

各 種 目 順 位

Softball		ソフトボール		Boccia		ポッチャ	
1位	2F5+ 阿寒の神	2位	チーム漢	1位	スタッフ倶楽部	2位	集田ゼミ
Soft Tennis		ソフトテニス		Dodgeball		ドッジボール	
1位	チーム	2位	tinder	1位	バスケ部	2位	A1



YOSAKOIソーランサークル



外川 晃平さん

2022年6月8日(水)～12日(日)にかけて開催された「YOSAKOIソーラン祭り」。北海道を代表するこの祭典に、本学の「YOSAKOIソーランサークル」が、社会人合同チーム「江別まっことええ&北海道情報大学」として出場しました。3年ぶりの祭り開催にかけた思いを、代表の外川 晃平さん(情報メディア学科4年)に伺いました。

—— 3年ぶりとなる「YOSAKOIソーラン祭り」。出場に当たってはどんな思いでしたか？

楽しみと不安が半々でしたね。週4日のペースで練習して、踊りの準備は万端だったのですが、やはり久しぶりの大舞台ということで、不安も大きかったです。今年参加したばかりの1年生2名も出場しましたが、二人とも緊張していました。

—— 祭りを終えていかがでしたか？

やはり対面で、多くのお客様の前で演舞する体験は心躍るものでした。会場の熱気やチームの一体感を全身で感じられ、それが最高でした。YOSAKOIソーラン祭りはお客様との距離が近いので、一体となって祭りを作り上げる感覚が、他のスポーツにはない魅力の一つだと思います。

—— YOSAKOIソーランサークルの今後の夢はありますか？

メンバーは現在、踊り子3名、サポートが1名、計4名しかいません。私が入部したころは40名弱の大所帯だったので、かつての活気を取り戻したいです！

—— 外川さんにとっては学生時代最後のYOSAKOIでしたが、これまでの活動を振り返ってどうでしたか？

YOSAKOIソーランサークルでの活動は、私を人間的に大きく成長させてくれました。チームの練習統括を任された経験か

ら、全体を見渡す視野と個別の課題に応じて臨機応変に対応する力が身につきました。私はもともと人とのコミュニケーションに苦手意識があったのですが、チームでの活動をとおして、それも克服することができました。あと、ファンの方々から応援のお言葉をいただくことが多々あったのですが、そのたびに誰かの支えがあって自分たちがあること、自分たちの頑張りが周りに元気を与えられることを実感でき、大切な思い出になっています。

—— 最後に「YOSAKOIソーランサークル」のPRをどうぞ！

YOSAKOIソーランサークルの魅力はたくさんありますが、スタートラインが皆同じなので、一緒に切磋琢磨できるところですね。運動が苦手な人も必ず踊れるようになるので、何かを始めてみたいと考えている人には最高だと思います。また、うちは例年、社会人チームと合同で出場するので、学生のうちに社会人と触れあえることで、演舞以外にも学びの機会が多くあります。あと、間違いなく度胸がつきます。興味がある人は、ぜひ公式TwitterやInstagramからのメッセージをお待ちしています。



YOSAKOI
ソーランサークル
公式 Twitter



YOSAKOI
ソーランサークル
公式 Instagram

にできることを。

学生活動

ITや医療、デザインを学ぶ北海道情報大学の学生たちですが、それら以外にもさまざまなシーンで精力的に活動を行い、自己研鑽しています。

軟式野球部



上原 文太さん

武田 礼さん

2022年6月25日(土)～7月2日(土)にかけて開催された北海道地区大学軟式野球連盟主催の新人戦において、本学軟式野球部が優勝しました！優勝までの道のりと今後の目標を、新人チームの代表を務めた上原 文太さん(システム情報学科2年)に伺いました。

—— 優勝おめでとうございます。3戦すべて格上からの勝利で優勝を飾りましたね

はい、うちは今3部ですが、初戦の千歳科学技術大学は2部、2回戦の北翔大学と、決勝の北海学園大学は1部のチームです。そういう意味でも今回の優勝は嬉しかったですね。守備では要所でしっかりと締めることができたこと、攻撃では相手のミスを逃さず得点に繋げられたことが大きかったです。

—— そのほかに勝利のポイントがありますか？

そうですね。3戦すべて完投したピッチャー武田*の頑張りはやはり大きかったです。3戦とも100球越えの力投で、2回戦では166球、決勝では144球、特に2回戦と決勝の間は2日しかなかったにも関わらず、本当に頑張ってくれたと思います。

*武田 礼さん(情報メディア学科2年)

—— 大会に向けて努力や苦労したことはありましたか？

授業などの都合で、全員集まっていた練習があまりできなかったのは難しいポイントでした。1日に3名しか集まらない日もありましたが、それを補うためにチームプレーについて練習外

で意識合わせするなど、工夫しながらチームの一体感を高めていました。

—— 今後の目標はありますか？

まずは秋の大会で優勝して2部に昇格したいです。去年は4部で最下位であったにもかかわらず、今年の春の大会では優勝して3部に上がり、今回新人戦も優勝できたので、このまま良い流れに乗っていきたいです。最終的な目標は、1部で優勝することです。

—— 最後に「軟式野球部」のPRをどうぞ！

現在チームは29名、うちマネージャーが1名で、どちらも絶賛メンバー募集中です！今軟式野球部はどんどん強くなっているところです。一緒に1部優勝を目指して頑張りましょう！公式TwitterとInstagramを用意しているので、興味がある人はそこから気軽にメッセージしてください！



北海道情報大学
軟式野球部
公式 Twitter



北海道情報大学
軟式野球部
公式 Instagram

情報メディア学科 プロジェクトトライアルII



本学では、学生がチームを組み、Web、アプリ、ビジネスなど様々な分野で作品の「企画」「制作」「発表」を行うプロジェクト形式の科目が複数用意されています。そうした科目のうち、情報メディア学科の「プロジェクトトライアルII」の作品展示会が、2022年5月27日(金)に学内で開催されました。会場には全6チームの作品が展示され、制作チームのメンバーから作品の説明を受けながら、たくさんの見学者が作品の世界を体感しました。

Team 魔王と勇者御一行

ゾン恋 ~君にぞっこん恋物語~



情報大学内を舞台とした恋愛シミュレーション風インタラクティブ動画。

Team オガサークル

先生ポンポン



情報大の先生と関連する分野が描かれたイラストパネルを組み合わせ、得点を競う新感覚絵合わせバトル。

Team チームBBS

情報大生専用掲示板



コロナ禍による学生間のコミュニケーション不足を解消するために考案した、情報大生だけが使用できるネット掲示板。



<https://hiubbs.net/bbs/register/loginform.php>

Team ninth

BATTLE SURVIVAL



既出の商品よりも分かりやすく、初心者でも楽しめることをコンセプトにした対戦型カードゲーム。

Team ソサイズ

デジタル

~使用事例のある投稿型素材配布サイト~



皆が投稿するから「多くの素材が継続的に集まる」、使用事例があるから「使い方が分かりやすい」新しい素材配布サイト。



Twitter

ソサイズ

https://twitter.com/dezitaru_JP / <https://dezitaru.com/>

Team Danny's Saloon

お酒との付き合い方



実在するお酒を擬人化したキャラクターと共に紹介し、お酒の知識と、親しみを持ってもらうことをコンセプトにしたお酒入門ブック。



<https://drive.google.com/file/d/1AJ3PGC5emG36coQfwmguidmpSJSIRCCD/view>



令和3年度

令和4年度

学位記授与式・入学式 挙行

令和3年度学位記授与式及び令和4年度入学式は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、3年ぶりに卒業生・修了生、入学生全員を松尾記念館講堂に集めて挙行了しました。

ご家族の皆様にもご覧いただけるよう、今回もグループ会社のメディア教育センター協力の元、YouTube 配信を行いました。

令和3年度 学位記授与式

— 令和4年3月18日(金) —

卒業生・修了生代表への学位記授与、学長告辞、理事長祝辞(代読)、成績優秀者への賞状授与等の後、卒業生・修了生を代表して答辞を述べた吉原 七海さん(先端経営学科)からは、コロナ禍での学生生活の葛藤と自身の成長、無事にこの日を迎えられたことに対する感謝の言葉がありました。

式終了後には集合写真撮影を3年ぶりに実施した他、本学からの最後の学生支援として準備を進めた新型コロナワクチン職域追加接種(3回目接種)をeDCタワー最上階で行い、多くの卒業生がワクチン接種を行いました。



令和4年度 入学式

— 令和4年4月5日(火) —

1,187名(通信教育部含む)が北海道情報大学生としての学生生活をスタートしました。

学長告辞で、西平 順学長から入学生と共有したい2つの言葉として、現在と未来の自己に対して「①自己信頼」をし、目の前の課題解決に「②当事者意識」を持って前向きに取り組むよう激励の言葉がありました。

理事長祝辞(代読)等の後、入学生を代表して干場 琉菜さん(情報メディア学科)から宣誓の言葉があり、閉式となりました。

式終了後には、建学の理念や本学の歴史・教育環境などをまとめた映像「未来の先駆けへ」の上映、学科別ミーティングを行い、スタートアッププログラム初日を終わりました。



HIU Teachers

先生だって負けてられない!

教員活動報告

Activity Report

「食と運動と芸術DX」プロジェクト開催

「食」「運動」「芸術」は豊かな人づくりの基本です。「食と運動と芸術DX」プロジェクトは、この3つの領域に「情報」を組み合わせ、新たな教育スタイルの構築を目指す取組みです。専門が異なる教員が学部の垣根を越えて連携できるのが「情報大スタイル」。学生と教員が一体となり、このプロジェクトから新しい価値を生み出していきます。

第1回目は2022年6月25日(土)に次世代を担う小学生1～3年生とその保護者を対象とし、本学で開催しました。次の3つのプログラムを実施し、参加者はいずれのプログラムにも目を輝かせていたのが印象的でした。これからもこのプロジェクトを通じて本学が真に地域とともに歩む大学であることを実践していきます。



医療情報学部
医療情報学科

ほんま なおゆき
教授 本間 直幸



教員とゼミ生

PROJECT 01 食

IC内蔵の食品サンプルをトレイに載せるだけで栄養バランスを☆の数で診断できる「食と健康教室」

ほんま なおゆき
医療情報学部 本間 直幸



☆5つで栄養博士!



健康クイズで大正解!

PROJECT 02 運動

最新のトレーニング機器やスマートフォンなどを利用した運動プログラム体験「キッズスポーツ教室」

わたや たかし
情報メディア学部 綿谷 貴志



早押し競争



光を追って猛ダッシュ!

PROJECT 03 芸術

コンピュータから楽器音や環境音が鳴る仕組み作りや実際に音作りを行う「音×IT教室」

ひらやま はるか
情報メディア学部 平山 晴花



音作りに真剣!



どんな作品ができるかな?

「新型コロナウイルス感染症対策の推進に関する協定」締結 令和4年度「電波の日・情報通信月間」記念式典 北海道テレコム懇談会会長賞受賞

2022年6月3日(金)、札幌市役所において、札幌市と札幌医科大学、北海道科学大学、本学の4者間で、「新型コロナウイルス感染症対策の推進に関する協定」の調印式が執り行われました。この協定は、札幌市における新型コロナウイルス感染症対応に関し、3大学のICTに関する高度な知見に基づき、健康観察アプリ「こびまる」、療養判定アプリ「こくちまる」などを用いた感染症対策を推進することを目的としたものです。

感染者の自宅療養中の健康状態を確認する健康観察アプリ「こびまる」は2020年5月から、入院の必要性などを自動判定する療養判定アプリ「こくちまる」は2022年4月から、実際に札幌市で運用され、札幌市保健所や医療現場の負担軽減につながっています。このアプリ開発に本学からは、先端経営学科の向原 強教授と藤本 直樹准教授の2名が参画しています。

本取組が評価され、向原教授、藤本准教授の両名は、総務省北海道総合通信局主催 令和4年度「電波の日・情報通信月間」記念式典において、北海道テレコム懇談会会長賞を受賞しました。

COVID-19 健康観察アプリ「こびまる」開発

新型コロナウイルス感染症のワクチンが普及するまでの間、札幌市保健所では重症者の入院調整に追われ、軽症者や濃厚接触者の対応に手が回らない状況が続いており、適切な健康観察が不可欠でした。

「こびまる」は、札幌医科大学の小山 雅之助教と北海道科学大学の谷川 琢海准教授が発案し、「COVIDから守る」という意味を込め、3つの大学の教員と札幌市保健所が独自に開発した健康観察アプリです。基本構想3日、プロトタイプ作成1週間という短期間で初期のシステムが開発されました。私と向原強教授は、第3波として感染者が急増した2020年11月末から総勢7名の本プロジェクトチーム「谷川モーターズ」に参画しました。私たちは、主にプログラム処理による手続きの自動化やダッシュボード作成による情報の見える化を担当していますが、谷川モーターズ一人ひとりが変幻自在に役割を分担し、医療崩壊の危機を陰ながら支えてきました。

こびまるには、いくつかの特徴があります。まず、アジャイル型の開発により、早期のリリースと逐次改良を繰り返して短期間で効果を発現させたことです。次に2次元コード等を駆使して、多数の療養者・濃厚接触者に自ら健康状態を入力させたことです。それまでは、保健師による電話で対応していました。また、仮想ベッドマップという仕組みで、住所等の個人情報を扱うことなく健康状態を見える化しました。メンバーに医師が2名いるため、医学的な判定ロジックを組み込んで、健康状態のリスクを赤・黄・緑で表示しています。

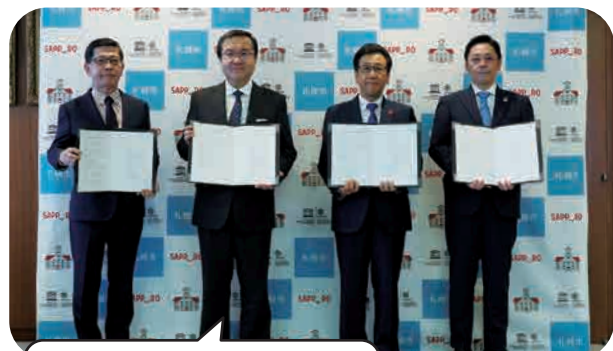
現在も、毎週オンラインミーティングを繰り返し、「こびまる」に加えて、「こくちまる」や「かいじよまる」ほか様々な付加機能や処理の自動化を追加し、現在では、市民が自律的に利用できる「こびまるライト」が稼働しています。2022年5月末時点での利用実績は、宿泊療養者105,000件、自宅療養者548,000件、濃厚接触者388,000件となっています。

この取り組みは、大学研究者の有志と保健医療行政の先駆的な

連携モデルとなっています。「こびまる」をきっかけとして、引き続き地域貢献や官学連携、行政サービスのDXに協力していきます。



札幌市保健所と「谷川モーターズ」のWebミーティングの様子



札幌市役所にて協定書を手に記念撮影

(右から)
北海道科学大学 川上 敬学長 / 秋元 克広札幌市長
札幌医科大学 山下 敏彦学長 / 本学 西平 順学長

経営情報学部 先端経営学科
准教授 藤本 直樹





2022年7月30日(土)、^{まさしま}牧島 かれんデジタル大臣(当時)が国の「デジタル田園都市国家構想」に向けた、江別市の取り組みについての視察の一環として本学に足を運ばれ、本学学生・教職員・江別市民とのタウンミーティング、同構想についての意見交換会、そして学内施設の見学をされました。

初めに、eDCタワー10階の特別会議室にて、本学学生や教職員らとの意見交換会「タウンミーティング」を開催しました。テーマは【デジタル技術の導入でWell-beingは達成できるのか「国策と地域ニ

ズのマッチング】と題し、^{わだ よしあき}牧島大臣、和田 義明衆議院議員、本学学生・教職員7名、及び江別市民1名の計10名でそれぞれの意見を出し合い、約1時間と短時間ではありましたが、活発な意見交換の場となりました。牧島大臣からは、「デジタルは決して冷たいものではなく、皆さんの生活をより豊かにするあたたかいもの」「人がシステムに寄り添うのではなく、システムが人に寄り添う」等のコメントをいただき、学生たちは真剣な面持ちで牧島大臣の意見を聞いていました。

その後、^{みよしのぼる}三好 昇江別市長、^{にしひら}西平学長らとの「デジタル田園都市国

デジタル大臣

2022.7.30 SAT

情報大へ来学



家構想」についての意見交換会では、江別市の協力を得て本学が中心となって展開している食の臨床試験システム「江別モデル」について説明し、「食と健康」・「認知症対策」に関わる様々な知見が得られていることを報告しました。牧島大臣は、自身が野菜ソムリエの資格を持つなど食に高い関心があり、また認知症研究は今後更に重要性が増してくるとのお考えも相まって、大変興味深く説明をお聞きになっていました。

最後の施設見学では、認知症研究に関する設備の視察時には、

ノーベル賞受賞者の田中 耕一たなか こういち氏にサプライズ登場いただき、認知症研究のための脳内物質分析機器について、オンラインで説明をいただきました。

最後に、北海道情報技術研究所において、リモート授業で使用する講義スタジオ等の施設を見学いただいた他、最新のモーションキャプチャ技術を用いて牧島大臣の動きを再現するデモンストレーションを行い、大変満足した様子で本学を後にされました。

新任教員の

ご紹介

NEW TEACHERS
今年度は9名の教員が
新たに着任しました。



経営情報学部 システム情報学科

講師 おおい なぎさ
大井 渚

研究分野 光赤外線観測天文学
銀河進化史

専門は天文学です。宇宙が誕生してから138億年という悠久の時間の中で、銀河が「いつごろ」「どのように」して成長してきたのかを明らかにしたく、研究に取り組んでいます。

情報メディア学部 情報メディア学科

講師 つじ じゅんぺい
辻 順平

研究分野 社会シミュレーション
マルチエージェントシステム 他

専門は、マルチエージェントシミュレーションです。コンピュータの中に仮想的なテーマパークを作り、シミュレーションによって混雑や動線分析をする研究をしています。IoT分野の研究もしています。



医療情報学部 医療情報学科

教授 ひがしの ふみひろ
東野 史裕

研究分野 分子腫瘍学、ウイルス学
トランスレーショナルリサーチ

専門は分子腫瘍学で、これまでウイルスによる発がんメカニズムを分子生物的に解析し、最近では解明した知見を用いて、がんを治療する腫瘍溶解ウイルスの開発を行っています。

医療情報学部 医療情報学科

講師 とだ なみえ
戸田 奈美絵

研究分野 がん登録精度向上
セルフケア向上への取り組み

3月まで、看護師、診療情報管理士として勤務していました。専門はがん登録、診療情報管理。医療を直接支える現場への後方支援、医療へ貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



経営情報学部 システム情報学科

准教授 くりはら じゅんいち
栗原 純一

研究分野 リモートセンシング
地球惑星科学

分光とリモートセンシングを用いて、宇宙から農業まで様々な分野を研究対象としています。衛星やドローンで得られたデータを使って、SDGsへの貢献に取り組んでいます。



情報メディア学部 情報メディア学科

講師 さかもと まきば
坂本 牧葉

研究分野 視覚デザイン
インタフェースデザイン 他

イラスト、グラフィックデザインなど伝えることを目的とした視覚表現とUIデザイン、PBL授業に関する研究に取り組んでいます。

医療情報学部 医療情報学科

教授 にしへ としや
西部 俊哉

研究分野 外科、血管外科
血管内治療

これまで36年間、主に大学病院で臨床・研究・教育を行ってきました。本学ではその経験を活かして、知性と人間性を兼ね備えた情報と医療のスペシャリストを育成できるよう努力したいと思っています。



医療情報学部 医療情報学科

准教授 ちば ふみお
千葉 二三夫

研究分野 医療機器、治療機器
臨床工学

30年間、急性期総合病院で勤務していました。専門は生体機能代行装置学など臨床工学全般です。学生の皆さんに「命のエンジニア」臨床工学技士の魅力を伝えたいと思っています。

医療情報学部 医療情報学科

講師 はっとり ひろき
服部 裕樹

研究分野 ヘルステック

専門はヘルステック分野でさまざまな健康に関するデータの活用について研究しています。以前は企業で電子カルテや地域医療連携システムの開発などに携わっていました。



新任教員って どんな人たち？

新しく着任された先生たちに、今までの経歴やプライベート、趣味などを伺ってみました。

WHAT KIND OF PEOPLE ARE NEW TEACHERS?

KURIHARA Junichi



東京生まれのインドア派です。スポーツはTV観戦派です。小さい頃は典型的な井の中の蛙で、山手線の外には世界が存在しないと思っていました。ずっと東京から出ることはないだろうと思っていましたが、縁あって2010年から札幌に住んでいます。

北海道に来てから生まれた二人の子どもはすっかり道産子として成長し、私と違って自然の中で遊ぶのが大好きです。

最近、子どもたちに付き添うために20年ぶりにスキーを再開しました。

私自身はこれと言って趣味はないのですが、週末に家族(と自分の晩酌)のために料理を作ることが楽しみです。



スキー場に併設された氷のバーにて水でできたグラスでカクテルを飲む



OI Nagisa

身体を動かすおもしろ体験が大好きです。スカイダイビングやケービング、ボルダリングやリアル脱出ゲームなど、機会があれば新たな体験との出会いを楽しんでいます。

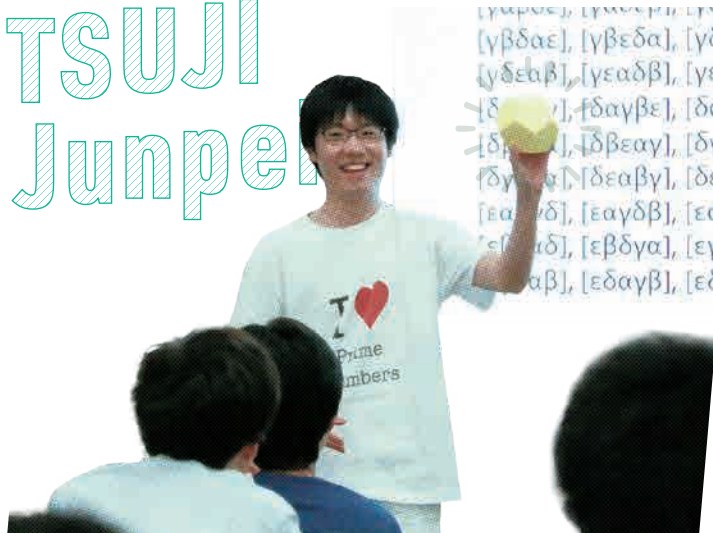
ソウルスポーツはバドミントン。小学校の頃からずっと細く長く続けています。私は北海道に来る前は千葉・東京・ハワイ・神奈川・兵庫・埼玉と多くの土地を点々と住み渡ってきていますが、全ての場所で地域のバドミントンクラブに参加してきているので、引越しの度に友達が増えて、とても楽しいです。今も北海道でバドが打てる場所を探しているところです。

「ビブリオバトル」という書評ゲームの普及に携わっています。面白いと思う本をお互いに持ちよって、5分間で紹介し合い、その場で「最も読みたくなった本」にみんなで投票し、「チャンプ本」を決定するというゲームです。時間内に話すのはちょっと緊張しますが、いろいろな人のおすすめ本に出会える楽しいゲームです。どんな本でもOKですし、誰でも気軽にできます。プライベートでは、アクリル絵具を使った絵や小さな彫刻などを気ままに制作しています。車で出掛けて温泉に行ったり、面白い・変なお土産ものを探したりするのも好きです。

SAKAMOTO Makiba



TSUJI Junpei



休みの日には、趣味で数学を勉強しています。興味の赴くままに趣味として数学を楽しむことを「日曜数学」と名づけ、日曜数学者を名乗って日々活動しています。仕事でも使っているプログラミングを活用して数学の定理を可視化したり、ゼータ関数という関数が好きで「触れるゼータ関数」を3Dプリンタで出力したりして、楽しく過ごしています。

数学の講演を依頼されることも多くなり、各地のイベントで数学の楽しさを伝えています。共著で本を出したり、テレビ番組への出演をしたりもしました。

こういう発信をしているうちに、最近では学生さんが数学の質問をしてくれるようになって、良い循環ができています。数学や科学に関する話をするのは大好きなので、ぜひ気軽にお声がけください。



触れるゼータ関数

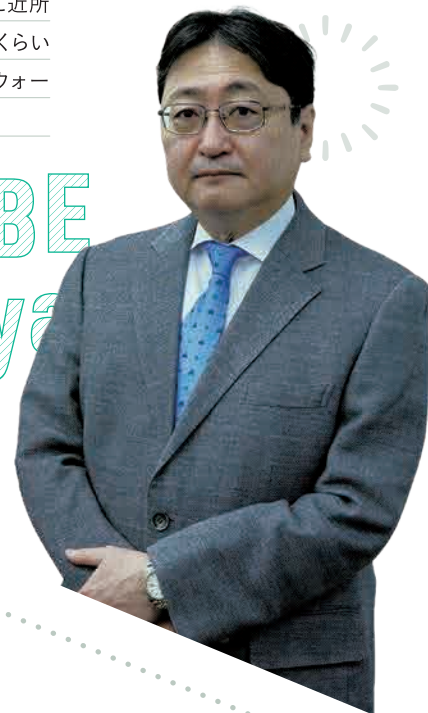


ウォーキングがてら道の駅で大根を購入するところ

医師という仕事柄、患者様に健康維持のため1日7,000～10,000歩「歩くこと(ウォーキング)」を勧めています。ウォーキングは酸素を身体に取り入れながら行う有酸素運動であり、長く続ければ続けるほど、脂肪をエネルギーとして燃焼しやすくなります。脂肪が減少することにより肥満が解消されて、代謝がよくなり、血中脂質や血糖値、血圧の状態の改善に有効です。また、心臓や肺の機能の維持や改善の効果もあります。特別な道具も必要なくお金もかからず老若男女幅広い層の方が行えるので、健康のために体を動かしたいという方にぴったりです。

私自身も家内と週末に近所の街中や公園を1時間くらい歩いています。皆さんもウォーキングしてみませんか？

NISHIBE Toshiya



HIGASHINO Fumihiro



これまで、国内外の大学や企業など様々な組織で、多くの人物と接し、そのことが現在の財産になっています。

趣味は、イヌの散歩、落語、料理などです。柴犬を飼っており、一緒に散歩することが私の健康法です。

出身は大阪で、昔から落語や漫才が大好きで、今でも気分転換によく落語を聞きます。以前は上方の落語が好きでよく聞いていたのですが、最近は東京の柳家小三治さんなども好きになり、独演会にもよくいきました。昔からたこ焼きなどはよく作っていたのですが、コロナ禍になってからは、料理がますます好きになり、YouTubeなどを見ていろいろな料理を作っています。





CHIBA Fumio

趣味は、スポーツ(野球・スノーボードなど)で、息子たちの中学硬式クラブチームではコーチでお手伝い、高校では甲子園に連れていってもらった機会がありました。また日本ハムファイターズも大好きで、札幌ドームへよく観戦に行きます。来年の新球場エスコンフィールドでの観戦を楽しみにしています。最近では、市民農園でズッキーニ、インゲン、オクラ、スイカ、メロンなど野菜作りにもハマっています。



20代まではフィールドホッケーに打ち込み、インターハイや国体予選に出場していましたが、今やすっかりスポーツとはかけはなれ…写真撮影やガーデニングを楽しんでいます。

数年前から薔薇の育成に目覚め、昨年、地植えに変えた薔薇の根張りの勢いに感嘆している今日この頃。通りすがりの方々もアドバイスをしてくれるので助かりますね。

大人しいと思われがちですが、実はサービス精神旺盛。子どもが小さき頃は、近所の子どもたちを集め、ガーデニングの花を活用してリアルお花屋さんごっこや、元氣と勢いで江別市の仮装盆踊り大会に参加し2位を獲得。さて、今度は何にトライ!?



TODA Namie

HATTORI Hiroki



最近では全然乗っていませんが、趣味は自転車です。流れる風景を見ながら、無心でペダルを回し前へ前へ進む感覚はすごく心地よいものです。また、長い距離や坂を走破した時は、次に走る際の自信に繋がります。以前走れたように徐々に走れる距離を伸ばしていきたいです。

走ることもですが、自転車はカスタマイズ可能なので、どんなパーツを載せてどんな自転車にするか考えるのも楽しいです。どんなギアにするかだけでなく、快適に走るためにどんなタイヤにするか、荷物も運びたいのでバッグも付けたいなどなど。しかしながら、予算と睨めっこすることで夢だけが広がっていくことになります。



写真右の自転車は2010年、今から12年も前のモデルになりますが、クロスバイクなのに標準でディスクブレーキを装備し、古さを感じさせないように思います。ハンドルは学生時代に「カッコ良さそう」という理由でブルホーンハンドルに換装、今も同じハンドルを使用しています。

その他、ペダルや変速、ギアも換装しているため、元々装着されていたパーツは少なくなっていました。

学校法人 電子開発学園 令和3年度決算の概要

令和3年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

1. 資金収支計算書

令和3年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較します。

(1) 収入の部

学生生徒等納付金収入で9百万円増加、手数料収入で11百万円増加、補助金収入で3百万円増加、付随事業・収益事業収入で6百万円増加、受取利息・配当金収入で5百万円増加、雑収入で16百万円増加、学費前受金収入で15百万円増加、その他の収入で42百万円増加し、収入の部合計は109億59百万円となりました。

(2) 支出の部

人件費で16百万円増加、教育研究経費及び管理経費で63百万円減少、施設関係支出及び設備関係支出で35百万円減少、資産運用支出で18百万円増加、その他の支出で54百万円減少しました。翌年度繰越支払資金は62億43百万円で1億92百万円増加し、支出の部合計は109億59百万円となりました。

2. 事業活動収支計算書

令和3年度の事業活動状況を事業活動収支計算書により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの事業活動に区分し、それぞれの収支状況を予算と決算で比較します。

(教育活動収支)

(1) 収入の部

学生生徒等納付金で9百万円増加、手数料で11百万円増加、経常費等補助金で3百万円増加、付随事業収入で6百万円増加、雑収入で18百万円減少し、収入合計は49億19百万円で、10百万円増加となりました。

(2) 支出の部

人件費で48百万円増加、教育研究経費及び管理経費で70百万円減少、徴収不能額等で4百万円増加し、支出合計は43億23百万円で、18百万円減少となりました。「教育活動収支差額」は5億96百万円で、28百万円増加となりました。

(教育活動外収支)

- (1) 教育活動外収入計は、受取利息・配当金の46百万円で5百万円増加となりました。
- (2) 教育活動外支出計は、借入金等利息の6百万円となりました。「教育活動外収支差額」は39百万円で、5百万円増加となりました。「経常収支差額」は6億35百万円で、33百万円増加となりました。

(特別収支)

- (1) 退職給与引当金の過年度修正額が56百万円増加、特別収入計は68百万円で、56百万円増加となりました。
- (2) 過年度修正額が8百万円増加、特別支出計は20百万円で、9百万円増加となりました。「特別収支差額」は48百万円で、47百万円増加となりました。

「基本金組入前当年度収支差額」は6億83百万円で81百万円増加となりました。「基本金組入額合計」は1億81百万円で1億円減少となりました。「当年度収支差額」は5億2百万円で1億81百万円増加となりました。「翌年度繰越収支差額」は13億79百万円で1億81百万円増加となりました。

3. 貸借対照表

令和3年度の財政状態を貸借対照表により本年度末と前年度末で比較します。

(1) 資産の部

合計で166億54百万円と前年度末対比で5億32百万円増加しました。「固定資産」は主に建物が大学の厚生棟屋上冷却塔交換工事等、専門学校の教室改修工事等で38百万円増加、大学の厚生棟冷却塔等の除却で4百万円減少、減価償却額で1億74百万円減少しました。構築物は専門学校の2号館前段差部分手摺新設工事で百万円増加、減価償却額で7百万円減少しました。教育研究用機器備品は大学のタブレットPC、教室用プロジェクター、机・椅子等、専門学校の実習室ノートパソコン等の備品購入で1億22百万円増加、大学の実習室パソコン等、専門学校の遠隔教育用教室のパソコン等の除却で3百万円減少、減価償却額で1億12百万円減少しました。管理用機器備品は学納金システム用サーバ、会議室ワイヤレスマイク設備更新等で12百万円増加、減価償却額で5百万円減少しました。図書は書籍購入等で6百万円増加、除却で5百万円減少しました。第2号基本金引当特定資産は50百万円増加、退職給与引当特定資産は37百万円減少しました。ソフトウェアは学納金システムの入替により5百万円増加、減価償却額で32百万円減少しました。これにより固定資産合計102億78百万円で1億53百万円減少となりました。「流動資産」は63億76百万円で6億85百万円増加し、主に現金預金が7億46百万円増加となりました。

(2) 負債の部

合計で27億6百万円と前年度末対比で1億51百万円増加しました。「固定負債」はeDCタワー等の長期借入金で42百万円減少、退職給与引当金が36百万円減少、長期未払金が34百万円減少し、合計1億12百万円減少となりました。「流動負債」は未払金が9百万円増加、学費前受金が53百万円減少し、合計39百万円減少となりました。

(3) 純資産の部

合計で139億48百万円と前年度末対比で6億83百万円増加しました。「基本金」は125億69百万円で固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金の組入額が1億31百万円増加、将来取得する固定資産の取得に充てる資産の額である第2号基本金の組入が50百万円増加しました。

1. 資金収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,874,164,000	3,882,784,321	△8,620,321
手数料収入	36,074,000	46,702,420	△10,628,420
寄付金収入	8,422,000	8,953,800	△531,800
補助金収入	483,681,000	486,181,457	△2,500,457
国庫補助金収入	356,871,000	356,968,500	△97,500
地方公共団体補助金収入	126,810,000	129,212,957	△2,402,957
資産売却収入	300,000,000	300,008,653	△8,653
付随事業・収益事業収入	394,366,000	400,612,296	△6,246,296
受取利息・配当金収入	40,662,000	45,664,566	△5,002,566
雑収入	86,722,000	103,159,870	△16,437,870
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,396,702,000	1,411,790,667	△15,088,667
その他の収入	321,491,000	363,378,947	△41,887,947
資金収入調整勘定	△1,538,233,000	△1,586,306,653	48,073,653
前年度繰越支払資金	5,496,543,000	5,496,542,757	243
収入の部合計	10,900,594,000	10,959,473,101	△58,879,101

支出の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,747,136,000	1,763,220,476	△16,084,476
教育研究経費支出	1,661,877,000	1,623,445,816	38,431,184
管理経費支出	589,392,000	564,625,070	24,766,930
借入金等利息支出	6,344,000	6,342,935	1,065
借入金等返済支出	41,661,000	41,660,000	1,000
施設関係支出	42,442,000	39,534,597	2,907,403
設備関係支出	173,838,000	141,822,212	32,015,788
資産運用支出	387,885,000	405,486,118	△17,601,118
その他の支出	662,567,000	609,033,649	53,533,351
資金支出調整勘定	△463,727,000	△478,440,787	14,713,787
翌年度繰越支払資金	6,051,179,000	6,242,743,015	△191,564,015
支出の部合計	10,900,594,000	10,959,473,101	△58,879,101

活動区分資金収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

			(単位:円)	
科目			金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,882,784,321	
		手数料収入	46,702,420	
		特別寄付金収入	6,578,800	
		一般寄付金収入	2,125,000	
		経常費等補助金収入	477,300,457	
		付随事業収入	400,612,296	
		雑収入	102,885,748	
		教育活動資金収入計	4,918,989,042	
	支出	人件費支出	1,763,220,476	
		教育研究経費支出	1,623,445,816	
管理経費支出		557,491,802		
教育活動資金支出計	3,944,158,094			
差引	974,830,948			
調整勘定等	△41,022,552			
教育活動資金収支差額	933,808,396			
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	250,000	
		施設設備補助金収入	8,881,000	
		施設設備売却収入	8,653	
		施設整備等活動資金収入計	9,139,653	
	支出	施設関係支出	39,534,597	
		設備関係支出	141,822,212	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000,000	
	施設整備等活動資金支出計	231,356,809		
	差引	△222,217,156		
	調整勘定等	△29,602,336		
施設整備等活動資金収支差額	△251,819,492			
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	681,988,904			

			(単位:円)	
科目			金額	
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	300,000,000	
		退職給与引当特定資産取崩収入	92,335,982	
		その他の収入	159,339,119	
		小計	551,675,101	
	支出	受取利息・配当金収入	45,664,566	
		過年度修正収入	274,122	
		その他の活動資金収入計	597,613,789	
	支出	借入金等返済支出	41,660,000	
		有価証券購入支出	300,000,000	
		退職給与引当特定資産繰入支出	55,486,118	
その他の支出		124,330,369		
小計	521,476,487			
支出	借入金等利息支出	6,342,935		
	過年度修正支出	7,133,268		
	その他の活動資金支出計	534,952,690		
差引	62,661,099			
調整勘定等	1,550,255			
その他の活動資金収支差額	64,211,354			
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	746,200,258			
前年度繰越支払資金	5,496,542,757			
翌年度繰越支払資金	6,242,743,015			

2. 事業活動収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	3,874,164,000	3,882,784,321	△8,620,321
	手数料	36,074,000	46,702,420	△10,628,420
	寄付金	8,212,000	8,703,800	△491,800
	経常費等補助金	474,800,000	477,300,457	△2,500,457
	国庫補助金	347,990,000	348,087,500	△97,500
	地方公共団体補助金	126,810,000	129,212,957	△2,402,957
	付随事業収入	394,366,000	400,612,296	△6,246,296
	雑収入	120,945,000	102,885,748	18,059,252
	教育活動収入計	4,908,561,000	4,918,989,042	△10,428,042
	事業活動支出の部	人件費	1,735,754,000	1,783,383,566
教育研究経費		1,952,163,000	1,913,562,892	38,600,108
管理経費		631,175,000	599,783,561	31,391,439
徴収不能額等		22,364,000	26,753,500	△4,389,500
教育活動支出計		4,341,456,000	4,323,483,519	17,972,481
教育活動収支差額	567,105,000	595,505,523	△28,400,523	

(参考)

(単位:円)

事業活動収入計	4,961,287,000	5,032,990,748	△71,703,748
事業活動支出計	4,359,180,000	4,350,047,354	9,132,646

(単位:円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動外収支	事業収入の活動部	受取利息・配当金	40,662,000	45,664,566	△5,002,566
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	事業支出の活動部	借入金等利息	6,344,000	6,342,935	1,065
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	6,344,000	6,342,935	1,065
	教育活動外収支差額	34,318,000	39,321,631	△5,003,631	
	経常収支差額	601,423,000	634,827,154	△33,404,154	
特別収支	事業収入の活動部	資産売却差額	0	8,653	△8,653
		その他の特別収入	12,064,000	68,328,487	△56,264,487
	事業支出の活動部	特別収入計	12,064,000	68,337,140	△56,273,140
		資産処分差額	11,379,000	12,632,132	△1,253,132
		その他の特別支出	1,000	7,588,768	△7,587,768
		特別支出計	11,380,000	20,220,900	△8,840,900
		特別収支差額	684,000	48,116,240	△47,432,240
		基本金組入前当年度収支差額	602,107,000	682,943,394	△80,836,394
		基本金組入額合計	△281,080,000	△181,254,002	△99,825,998
		当年度収支差額	321,027,000	501,689,392	△180,662,392
	前年度繰越収支差額	876,845,000	876,845,063	△63	
	翌年度繰越収支差額	1,197,872,000	1,378,534,455	△180,662,455	

3. 貸借対照表 令和4年3月31日

資産の部

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,277,624,657	10,430,327,537	△152,702,880
有形固定資産	6,546,741,684	6,680,182,944	△133,441,260
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建築物	3,862,429,350	4,002,528,234	△140,098,884
構築物	75,827,127	81,286,777	△5,459,650
教育研究用機器備品	369,212,058	362,988,066	6,223,992
管理用機器備品	45,565,772	38,812,581	6,753,191
図書	464,618,581	463,883,575	735,006
車両	3,572,647	5,167,562	△1,594,915
特定資産	530,385,447	517,235,311	13,150,136
第2号基本金引当特定資産	200,000,000	150,000,000	50,000,000
退職給与引当特定資産	330,385,447	367,235,311	△36,849,864
その他の固定資産	3,200,497,526	3,232,909,282	△32,411,756
ソフトウェア	168,280,957	195,454,713	△27,173,756
有価証券	2,500,000,000	2,500,000,000	0
長期預金	500,000,000	500,000,000	0
その他の固定資産	32,216,569	37,454,569	△5,238,000
流動資産	6,376,068,476	5,690,980,483	685,087,993
現金預金	6,242,743,015	5,496,542,757	746,200,258
未収入金	94,684,877	112,094,076	△17,409,199
その他の流動資産	38,640,584	82,343,650	△43,703,066
資産の部合計	16,653,693,133	16,121,308,020	532,385,113

負債の部

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	718,184,594	829,752,377	△111,567,783
長期借入金	291,620,000	333,280,000	△41,660,000
退職給与引当金	372,609,300	408,221,660	△35,612,360
長期未払金	53,955,294	88,250,717	△34,295,423
流動負債	1,987,981,203	2,026,971,701	△38,990,498
短期借入金	41,660,000	41,660,000	0
未払金	492,917,129	484,381,739	8,535,390
前受金	1,411,790,667	1,464,505,006	△52,714,339
預り金	41,613,407	36,424,956	5,188,451
負債の部合計	2,706,165,797	2,856,724,078	△150,558,281

純資産の部

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	12,568,992,881	12,387,738,879	181,254,002
第1号基本金	12,065,992,881	11,934,738,879	131,254,002
第2号基本金	200,000,000	150,000,000	50,000,000
第4号基本金	303,000,000	303,000,000	0
繰越収支差額	1,378,534,455	876,845,063	501,689,392
翌年度繰越収支差額	1,378,534,455	876,845,063	501,689,392
純資産の部合計	13,947,527,336	13,264,583,942	682,943,394
負債及び純資産の部合計	16,653,693,133	16,121,308,020	532,385,113

北海道情報大学教育研究振興募金のお願い

本学では、グローバル人材育成活動、学生支援、教育研究支援、地域連携活動、教育施設・設備整備を遂行する資金確保を目的として「北海道情報大学教育研究振興募金」の募集を行っております。本募金の趣旨にご賛同いただける場合は、ご支援ご協力をお願いいたします。



北海道情報大学教育研究振興募金

検索

江別市ふるさと納税を活用した市内高等学校及び大学の支援について

令和4年7月27日より、江別市ふるさと納税の寄附先メニューにて「北海道情報大学」を選択して寄附ができるようになりました。納められた寄附金額の一部は、本学の教育環境の充実のため、活用されます。



江別市ふるさと納税 情報大

検索

09

2022

～3日(土) 追再試験期間

～20日(火) 夏季休業期間

21日(水) 後期スタートアッププログラム

22日(木) 後期 授業開始

23日(金) 通常授業日

10

2022

7日(金) 授業休業日

8日(土)～9日(日) 蒼天祭

15日(土) 月曜授業日

11

2022

18日(金) 後期前半 授業終了

21日(月) 後期後半 授業開始

23日(水) 通常授業日

12

2022

27日(火)～ 年末年始休業期間

01

2023

～8日(日) 年末年始休業期間

28日(土)～30日(月) 合同試験日

31日(火)～ 春季休業期間

02

2023

2日(木)～3日(金) 一般1期入試

6日(月)～11日(土) 冬期集中授業期間

13日(月)～18日(土) 後期追再試験期間

03

2023

17日(金) 学位記授与式

職 員

たかやしき まい
高屋敷 舞 会計課

たにくち しょうご
谷口 翔梧 法人本部経理課

はさお りゅうとく
波佐尾 隆徳 総務課



波佐尾

高屋敷

谷口

編 集 後 記

4月から全面的に対面授業となり、にぎやかな雰囲気に戻ってきました。新入生や新任職員も来て、フレッシュで活気あるキャンパスにワクワク!

今回の表紙写真は体育祭の様子です。4年ぶりの開催となり、とても白熱した体育祭となりました!新競技のポッチャでは、大人げなく(!?)職員チームが優勝してしまう結果に!

対面授業やイベントなど、少しずつ日常が戻っています。まだまだ油断のできない状況は続きますが、これからのキャンパスライフも楽しんでいきましょう!

大学広報プロジェクトメンバー

あんばいたかし おだじま けいた きのした あつし
安倍 隆 / 小田島 敬太 / 木下 篤史
さとう まみこ なかみち だいき にたとり かつま
佐藤 真美子 / 中道 大樹 / 似鳥 克馬

「ななかまど」バックナンバーは
大学Webサイトでご覧いただけます。

情報大 ななかまど

検索





北海道情報大学

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59-2
TEL: 011-385-4411 (代表)